東根市立高崎小学校だより〔小規模特認校〕
どんぐり
令和２年度第3号　令和２年6月23日発行
発行者　：　校長　樋 口 良 彦
〒999-3723 東根市大字観音寺 2162 番地
℡0237-44-2320　fax0237-44-1763
URL https://takasaki-higashine.edumap.jp/

子供の学びを保障するために

校長　樋口　良彦

４月の入学式直後からの臨時休業が延長され、授業の再開は５月 18 日（月）からとなりました。その間、週１～２回程度の登校日を設けることで、家庭で計画的に学習できる環境を整えるなどして学びの保障に努めてきましたが、約２０日分の授業時数の確保が大きな課題となりました。

これに応え得る方策は２つです。１つは、長期休業の日数を減じて登校日とすること。１学期の終業式、２学期の始業・終業式、そして３学期の始業式を前後に移動することで10 日分の授業日を確保しました。もう１つは、授業の週当たりのコマ数を増やすこと。６・７月については、各学年で１～２コマを増やし、「授業最優先」で学校を運営しています。これらにより年間の標準授業時数をクリアするだけでなく、学びを深めるために各学年 10～２０時間程度を確保できる見込みです。今後、新型コロナウイルス感染症の第２波や冬季にインフルエンザの流行等に見舞われないことを願っています。

さて、これまで学校では、３つの「密」を避ける保健指導と学校運営を続けることで新型コロナウイルスへの感染と拡大防止に努めてきました。**『社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならない状況』との基本的な考え方に立ち、『感染症対策と子供たちの健やかな学びの保障の両立』との基本認識**（「新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の学びの保障総合対策パッケージ 文部科学省 2020.6.5」から引用）をもち、今後も学校運営を進めて参ります。

９月の秋季大運動会は、徒競走以外の種目内容と進行予定を見直し、今にふさわしい運営を考えています。１０月末の学習発表会（どんぐり発表会）における保護者の参観は、子供さんの学年のみをご覧いただくことを想定しています。「児童の健康を守ること」と「教育活動を守ること」の両立は確かに難しく、多くの皆さんのお知恵をお借りしつつ、日々考えを巡らしながらあるべき姿を模索していきます。

「体力づくりウィーク(6/15～26)」５分間走に挑む全校児童

「めざす力が育つ授業づくり」に取り組んでいます

今年度、小学校で学習指導要領（学年毎の学習内容や目標として国が示す規準）が全面実施となりました。「主体的・対話的で深い学び」を実現することで、児童一人一人に各教科・領域等でめざす資質・能力の育成を図ります。今年から、３・４年生は「外国語活動」を、５・６年生は「外国語」として、英語を学ぶ時間が増えています。高崎小学校では、数年前から外国語活動を全ての学年で取り入れており、ＡＬＴ（外国語指導助手）の先生も参加して学んでいます。今年も１年生から英語に触れています。

学校では、職員の学習指導力の向上を図るため、４月から「校内研究全体計画」に基づき、全職員で取り組んでいます。加えて今年は、村山教育事務所の「学力支援アドバイザー」お二人を迎える研修会を設け、授業力の向上により、児童に「確かな学力」が育つ授業づくりを進める予定です。６月１２日（金）の第１回学校訪問では、全ての学級の授業を見ていただきました。第２回は７月２日、第３回は１月２８日と、計３回の訪問でたくさんアドバイスをいただきながら、児童が時間を忘れるような魅力ある授業をめざします。

３年理科「たねをまこう」

令和2年度　転入職員を紹介します

今年度の転入職員４名は、皆様にお目にかかりご挨拶する機会がないまま今日に至っています。高崎小学校の印象を含めて、改めてご挨拶いたします。

教頭　阿部（あべ）　玲子（れいこ）

東根小学校よりきました。高崎小学校は、地域に根ざし、高崎地区の子供はじめ、特認校の子供たちの教育活動に多くの協力をいただいているあたたかい学校と聞きました。

私は、「みんな　ちがって　みんないい」の精神で子供一人一人を大切にして教育につとめていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

学校図書館業務補助　髙橋（たかはし）　千華（ちか）

高崎小学校は、図書の貸し出し冊数が多くてびっくりしました。毎朝、開館前に、前の人と間隔を空けて並んで待っている姿に感動しています。

「小学校の時読んだ〇〇の本が好き」「高崎小学校の図書室が好き」と言ってもらえるような図書室にしていきたいと思います。

学力向上支援員　笹原（ささはら）　多美雄（たみお）

11 年ぶりに高崎小に勤めることになりました。以前、高崎小に3年、その後三中に4年、計7年この地区にお世話になりました。西の葉山のふもとから東の山に向かって通っています。子供たちが元気に学校生活が送れるよう支援していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

学力向上支援員　片桐（かたぎり）　章子（しょうこ）

担任の先生の話をよく聞いて取り組む「みのりタイム」の姿。音楽が終わっても目あてまで走り続けるマラソン練習。高崎っ子の一生懸命な姿が、とてもすてきだと思います。どうぞよろしくお願いします。

令和２年度　東根市立高崎小学校の経営

～児童・保護者・地域住民に愛され、信頼される令和の高崎小学校を創造する～

○学習指導要領
○第６次山形県教育振興計画後期プラン
○東根市の教育

〔教 育 目 標〕　知・徳・体の調和がとれ、心身ともにたくましく、人間性豊かな児童を育成する

〔めざす子ども像〕

・かしこい子ども　：　自分の考えをもち、進んで交流し表現する（自立・創造）
・あかるい子ども　：　互いのよさを認め合い、よりよい生活を創る　（共生・協働）
・たくましい子ども：　自他のいのちを大切にし、最後までやりきる　（健康・意志）

〔めざす学校の姿〕

・学　校　像　：　学校と地域を愛し、誇りに思う子どもを育て、地域とともに歩む学校
・スローガン　：　ゆめ　ふれあい　おもいやり　笑顔輝く高崎っ子

○児童の実態と願い
○保護者の願い
○地域のニーズ

【経営の方針】

（１）「小規模特認校（６年目）」を継承し、いっそう発展させる（保護者・地域・関係機関との連携・協働を通して）
（２）人を育てる豊かな環境づくりを推進し実践する（「いのち」を尊重し育む人的、物的、文化的環境の充実を通して）
（３）新設複式学級の円滑な運営を図る（関係者による緊密連携を通して）
（４）年間を通じて教育課程の点検と改善に取り組み、流行を不易にする（方針に基づく迅速な意思決定を通して）

【経営の重点】

【経営の基盤1】

特別支援教育の理念と視点を実現する指導実践

①すべての児童が生活しやすい生活･学習環境づくり

②児童の生活実態と課題､目標を踏まえた個別支援の充実

③特別支援教育コーデイネーターを中心にした機動的な教育相談

④「Ｑ－Ｕ」のデータや関係者の助言を生かす積極的な学級づくりと個別支援

学力の充実

①　一人一人の実態をもとに、協働的な学びでともに高まる授業づくりに努めます。
②　つけたい力を明確にし、その達成につながる主体的・対話的な学習活動と自身の成長や課題が実感できるふり返りを大切にした授業を創造します。
③　外国語及び外国語活動の指導充実に努めます。
④　読み聞かせや新聞等を生かした読書活動を推進し、情緒と知的活動の基盤づくりに努めます。

あたたかな学校

①　子どもの安心と安全を第一に教育活動を行います。
②　学びに向かう共感的な人間関係や潤いある教育環境づくりに努めます。
③　明るい挨拶やあたたかい声が響き合う指導に努めます。
④　子どもの存在と言動を認め、子どもの思いと願いを生かす生徒指導を実現します。
⑤　特別支援教育を推進するとともに、教育相談の充実を図ります。

「いのち」の教育

①　「いのちの日」や道徳教育を中心によりよい生活を築く活動を継続します。
②　児童会活動や行事での自発的な取り組みを通し、感動と発見を導きます。
③　縦割り班活動や異学年交流活動で、思いやりの心を育みます。
④　健康の保持増進に努め、体力と運動能力の向上をめざします。
⑤　幼保小連携、小小連携、小中連携を効果的に推進し、円滑な接続を進めます。

私たち（ふるさと）の学校

①　地域の人、自然、文化のよさを生かした学校づくりを進めます。
②　授業や行事等の公開、学校・学級だより、ホームページ、一斉メールの配信等を通して児童の活動の様子や学校の動きを積極的に伝えます。

「やる気」と「やりがい」がある職場環境

①　公教育を担う使命感と責任を職員一人一人が自覚し、皆様に愛され信頼される学校づくりに努めます。
②　効率的で効果的な働き方を模索し、改善に努めます。

【経営の基盤2】

保護者、地域住民、関係機関等との連携と協働

①保護者との緊密なやりとりに基づく信頼関係の構築と維持

②学校だより、学年だより、ＨＰ等による積極的な情報発信

③高崎公民館、高崎学童クラブ、高崎児童センター、アフタースクール等との積極的な連携・協働

【新規の経営課題】

１　新型コロナウイルス感性症拡大防止のための保健指導と「新しい生活様式」の創造
２　臨時休業等に対応する授業時数の確保等による「学びの保障」

〔校長室から〕―2･3年複式学級の今―

2年生5名と3年生10名が一つの教室で一緒に生活を始めてから、早いもので2か月近くが過ぎようとしています。学級担任の門脇教諭は、2学年分の指導計画を1週間単位で構想した上で、毎日5～6時間分の学習指導の準備をして授業に臨みます。片桐章子学力向上支援員は、これまで重点的に2･3年教室に入り支援を重ねてきました。

複式スタイルで取り組む授業は、主に国語と算数です。門脇教諭が指導を主導する役割で授業を開始し、片桐学力向上支援員は子供たちの学びの状況に応じて必要なだけの支援を重ねます。現時点では、門脇教諭が直接指導を主に担い、間接指導での支援は片桐学力向上支援員が担うような指導形態で進めています。最初のころは他の学年の授業の様子に目を向ける児童もいましたが、今では直接でも間接でも、自分が取り組むべき課題に集中することが普通となっています。これまでの「学び方を学ぶ」段階を経て、それぞれの教科がめざす資質･能力が獲得できるよう、指導方法のいっそうの工夫と改善を続けて参ります。

理科･社会･生活･書写などは、学ぶ内容が異なることから、2年と3年に分け単学年で授業を進めています。一方、ある程度の人数が必要な体育は、2年は1年生と、3年は4年生と合同で活動しています。音楽も1･2年合同です。ともに、指導を担当するそれぞれの指導者の進め方にも慣れ、学習活動が円滑に展開されるようになっています。

複式で「確かな学力」がつく指導とするには、児童が学びを進める間接指導の場面で、「自律的に学ぶ」ことが必要です。今後、外部から講師を招聘するなどして、いっそうの指導力向上を図って参ります。

お知らせ 「ふるさと学習(炭焼き体験)」と「里山キッズドリームランド祭」の中止について

例年７月に実施している「ふるさと学習(炭焼き体験)」は、関係の皆様方と協議の結果、新型コロナウイルス感染症防止のため今年度は中止いたします。これに伴い、秋の「里山キッズドリームランド祭」も中止いたします。長い伝統があり、本校の特色ある教育実践として評価が高いものだけに残念でなりません。令和３年度のあり方については、学校再開ガイドラインや新しい生活様式等の視点から、本校にふさわしいものとなるよう検討して参ります。

７ 月 の 行 事 予 定

日（曜）	主　な　予　定	登校日	日（曜）	主　な　予　定	登校日
１（水）	いのちの日、通学班長会、眼科健診	○	１７（金）	午前フリー参観、午後ＰＴＡ事業（全体会・学級懇談会）	○
２（木）		○	１８（土）		―
３（金）	職員会議⑥	○	１９（日）		―
４（土）		―	２０（月）	＊AS（4~6年）	○
５（日）		―	２１（火）		○
６（月）	＊AS開校（1~3年）	○	２２（水）		○
７（火）	内科検診	○	２３（木）	海の日	―
８（水）		○	２４（金）	スポーツの日	―
９（木）		○	２５（土）		―
１０（金）	児童委員会活動③＊AS開校（4~6年）	○	２６（日）		―
１１（土）		―	２７（月）	＊AS（1~3年）	○
１２（日）		―	２８（火）		○
１３（月）	＊AS（1~3年）	○	２９（水）		○
１４（火）		○	３０（木）	午前授業〈給食なし〉	○
１５（水）	いのちの日、児童代表委員会	○	３１（金）	午前授業・終業式〈給食なし〉	○
１６（木）	歯科健診	○	※２学期始業式は 8/17(月)。給食後、13:15 頃に下校します。		

※１　授業実施を優先して学校を運営しています。
※２　新型コロナウイルス感染症の状況等により、上記予定が変更になることがあります。